

新製品・新技術特集の発刊に際して

シニアフェロー
技術戦略推進室長

佐藤 裕子
Hiroko Sato



新製品・新技術特集の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、1月に発生した令和6年能登半島地震により被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

三菱重工グループでは、被災地のインフラをはじめとする当社グループ製品の復旧作業に向けた支援を進めています。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、これまでの様々な制限が撤廃され社会経済活動が回復傾向にある一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の継続、中東情勢の緊迫化、世界的選挙イヤーへの突入など、事業環境は依然として不透明であり、私たちを取り巻くグローバルリスクの枚挙にいとまがありません。また、気候変動への対処は喫緊の課題で、昨年11月に開催されたCOP28では、パリ協定で定めた目標と現実の乖離が認知され、成果文書には緊急的な行動の必要性が明記されました。カーボンニュートラルの実現には、私たちがMISSION NET ZEROで提唱するように、現実的な解決手順を設定し、経済性を考慮しながらトランジションを進めていくことが重要と考えます。

このような状況の下、私たちは、三菱重工グループの未来を洞察する取組みとして、“MHI FUTURE STREAM”に2018年から取り組んでいます。

昨年はこの活動として、国際情勢や技術革新など日々生じる変化を踏まえ、当社グループを取り巻く世の中のメガトレンドを改めて見直し、最新の状況に応じて当社グループが取り組むべき課題を再整理しました。その内容を本号で紹介するとともに、今後もこうした見直しを適宜行って、社会課題の解決に貢献していきます。

このほか、本号では新製品・新技術に関する最近の成果の一端として、エナジートランジション・社会インフラのスマート化に関連して、水素製造技術の開発、物流における作業効率化・省人化の取組み、安全安心な製品・サービスを支える基盤技術として、解析評価技術、製造技術、検査技術、制御技術など、全18件の論文を紹介します。

これからもサステナブルで安全・安心・快適な社会の実現に貢献し、社会の期待に応えられるよう、技術開発を推し進めてまいります。引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。